

「R&D 懇話会 237 回」 NanoTerasu 見学会

主催 公益社団法人 日本化学会 産学交流委員会

【会 期】 2024 年 9 月 6 日（金）13 時 00 分～16 時 00 分

【会 場】 NanoTerasu（〒980-0845；宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉 468-1 ナノテラス）

【集合】 NanoTerasu 13 時。遅れての参加は出来ませんのでご注意ください。

【企画概要】

日本化学会 産学交流委員会では、企業研究者と大学・国研などの研究者をつなぐ R&D 懇話会を定期的に開催しております。今回は、官民地域パートナーシップによる最先端の次世代放射光施設である 3GeV 高輝度放射光施設 NanoTerasu（宮城県仙台市）にて見学・講演会を開催します。東北大学・国際放射光イノベーション・スマート研究センターの中村哲也教授、西堀麻衣子教授によるご講演に加え、NanoTerasu の施設紹介および見学を予定しております。またとない機会ですので、皆さまのご参加をお待ちしております。

【プログラム】

12 時 45 分 受付開始

13 時 00 分 開会 & ナノテラスのご紹介

13 時 15 分 見学開始（約 1 時間）

14 時 30 分 NanoTerasu ビームライン概要と測定事例

◆中村 哲也 氏（東北大学 国際放射光イノベーション・スマート研究センター 放射光次世代計測科学連携研究部門・教授）

【趣旨】 NanoTerasu の供用が開始した。NanoTerasu は、軟 X 線の利用を得意としており、表面状態や軽元素の分析に適している。また、遷移金属の 3d 電子や軽元素の 2p 電子など化学結合に重要な電子軌道の情報が得られるため、「機能の可視化」研究が期待される。講演ではビームライン概要と測定例を紹介する。

15 時 00 分 講演② 物質化学から NanoTerasu への期待

◆西堀 麻衣子 氏（東北大学 国際放射光イノベーション・スマート研究センター 階層的計測スマートラボ・教授）

【趣旨】 放射光を用いた分析技術は、物質の構造や電子・化学状態を詳らかにする一方で、群盲象を評すという状況を抜けられていない。NanoTerasu では、どのようにモノの見え方が変わるのか。実際に NanoTerasu での分光測定例を紹介しながら、物質化学から期待されることを一緒に考えたい。

15 時 30 分 閉会（その後名刺交換・交流など）

16 時 00 分 現地解散

【参加費】 R&D 懇話会会員 9,000 円（R&D 懇話会無料参加券が利用可能）、日本化学会会員（個人・法人）12,000 円、非会員 15,000 円。※いずれも「税込」で、課税区分は「課税」です。

【申込】 チケット申込サイト「Payvent」よりお申込みおよび事前決済を行ってください。詳細は [リンク先](#)にてご確認ください。定員（25 名）に到達次第、受付を終了します。

【問合せ】 日本化学会企画部 河瀬 sangaku@chemistry.or.jp